



shaping tomorrow with you

FUJITSU Software ServerView® Suite を使おう！

—シナリオ 7：ハードウェア状態の比較による、異常原因究明—

対象製品：ServerView Archive Manager

2013 年 12 月
富士通株式会社

改版日	改版内容
2010. 2	新規作成
2011. 3	ServerView Operations Manager V5.0 に対応
2011. 8	富士通社外公開用の文書フォーマットに変更
2013.12	2013 年 12 月版の FUJITSU Software ServerView® Suite に対応

はじめに

FUJITSU Software ServerView® Suite は、PC サーバ FUJITSU Server PRIMERGY に標準添付されている、サーバ監視・管理ソフトウェアです。FUJITSU Software ServerView® Suite を使用することにより、サーバ管理者は、システム異常時の迅速な対応や原因の究明ができ、またシステムの安定した運用や管理が可能になります。

本資料の目的

本資料は、FUJITSU Software ServerView® Suite を用いたサーバ監視・管理作業の中から、代表的な作業の設定方法を、シナリオとしてご紹介するものです。

シナリオには以下があります。必要に応じて参照してください。

シナリオ No：タイトル	内容
0： ServerView Operations Manager のインストール方法	ServerView Operations Manager / Agents のインストールを説明しています。
1： ハードウェア異常監視① (メール通知等の設定)	ServerView Event Manager による、メール等での異常通知方法を説明しています。
2： ハードウェア異常監視② (ハードディスクの詳細確認)	ServerView RAID Manager による、ハードウェアの異常監視方法を説明しています。
3： CPU 負荷率の監視	ServerView Threshold Manager による、CPU 負荷率の監視方法を説明しています。
4： スケジュール運転	サーバ起動・停止のスケジューリング設定方法を説明しています。
5： CPU 負荷率やメモリ利用率、消費電力などのデータ採取	ServerView Performance Manager によるシステムの負荷状況、および ServerView Power Monitor による電力消費量の監視方法を説明しています。
6： 自動再起動 (ServerView ASR&R)	ServerView ASR&R による、正常起動の監視、および異常時の自動再起動の設定方法を説明しています。
7： ハードウェア状態の比較による、異常原因究明	ServerView Archive Manager による、ドライバ更新などのログ採取と、ログの比較によるエラー原因究明の方法を説明しています (本書)。

本資料におけるシステムの前提条件

本資料は、以下の環境を前提としています。サーバ機種の違いや、ServerView Operations Manager および ServerView Agents のバージョンの違いなど、異なる環境では操作方法や動作が異なる場合がありますので、御了承ください。

項目	内容
管理サーバ	PRIMERGY RX300 S6（アレイタイプ）
監視対象サーバ	PRIMERGY RX300 S6（アレイタイプ）
管理クライアント	FMV-S8245
サーバ OS	Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
クライアント OS	Windows Vista® Business
Web ブラウザ	Windows® Internet Explorer® 8.0
ServerView Operations Manager	Version 5.11.2010 ※最新 Version 6.21.2013 と同様手順
ServerView Agents	Version 5.11.2010 ※最新 Version 6.21.2013 と同様手順

本資料を利用するにあたっての前提知識

本資料を利用するにあたって、以下の技術情報についての知識が必要となります。

- ・ PC サーバに関する一般的な知識
- ・ Windows®、Linux などの OS に関する一般的な知識
- ・ ネットワークに関する一般的な知識
- ・ FUJITSU Software ServerView® Suite に関する基礎知識

本資料を活用するにあたっての留意事項

本資料は、2013 年 12 月現在の情報を元に作成しています。最新の FUJITSU Software ServerView® Suite の情報については、各製品のマニュアルを参照してください。

本資料では、ソフトウェア名称などを、以下のように略称で呼ぶことがあります。

正式名称	略称
ServerView Operations Manager	SVOM
ServerView Installation Manager	SVIM
Remote Management Controller(iRMC)	iRMC

はじめに	3
1. サーバ監視・管理のシナリオ	6
1.1. シナリオ 7：サーバ情報の比較による原因究明	7
1.2. マシン構成	8
2. サーバ監視・管理の設定	9
2.1. サーバ情報の比較による原因究明	9
2.1.1. アーカイブデータの設定	9
2.1.2. アーカイブデータの参照	11
免責事項	13

1. サーバ監視・管理のシナリオ

FUJITSU Software ServerView® Suite は、サーバに異常が発生した場合はもちろんのこと、通常の運用時においても、PRIMERGY を用いたシステム運用を助ける様々な機能を持っています。

FUJITSU Software ServerView® Suite を利用して行う監視・管理は、以下の 7 種類に大別できます。

- ・ 異常を通知する（シナリオ 1）
- ・ 異常を検知し、対処する（シナリオ 2）
- ・ ハードウェアの日常的なパフォーマンスを監視する（シナリオ 3）
- ・ 運用タスクの自動化設定（シナリオ 4）
- ・ システムの性能データ監視（シナリオ 5）
- ・ 障害時の自動対処（シナリオ 6）
- ・ 障害原因の究明（シナリオ 7）

本資料では、「障害原因の究明」のシナリオを用意し、その設定について説明します。

1.1. シナリオ 7：サーバ情報の比較による原因究明

FUJITSU Software ServerView® Suite は、ハードウェアやドライバなど、サーバの情報を定期的に取得して保存できます。また、過去の情報と最新の情報を比較して、変更された箇所を特定することも可能です。

シナリオ 7：

企業 D には同機種のサーバが複数運用されており、これらのサーバは多拠点で複数の管理者により運用されています。現在、これらのサーバのシステムアップデートに関するルールがないため、拠点ごとに最新ドライバの適用やパッチ適用を行っています。

ある拠点で運用しているサーバに不具合が発生しました。ところが、パッチ適用などの保守業務は拠点管理者に任せており、記録が残っていないため原因がわかりません。拠点管理者に相談された管理者 A さんは、定期的に取得しているアーカイブデータを用いて、他の拠点で正常稼働している、同じ構成のサーバと情報を比較しました。そして、問題の原因を探り、拠点管理者に原因をフィードバックしました。

■このシナリオで事前に設定する項目

このシナリオでは、ServerView Operations Manager で以下の項目を設定し、情報を収集します。

- ・ 毎日 15 時にサーバの状態を取得するよう、ServerView Archive Manager を設定

■対処の際に利用する機能

- ・ 2 つのサーバの状態を比較→ServerView Operations Manager の ServerView Archive Manager のデータ参照および比較機能

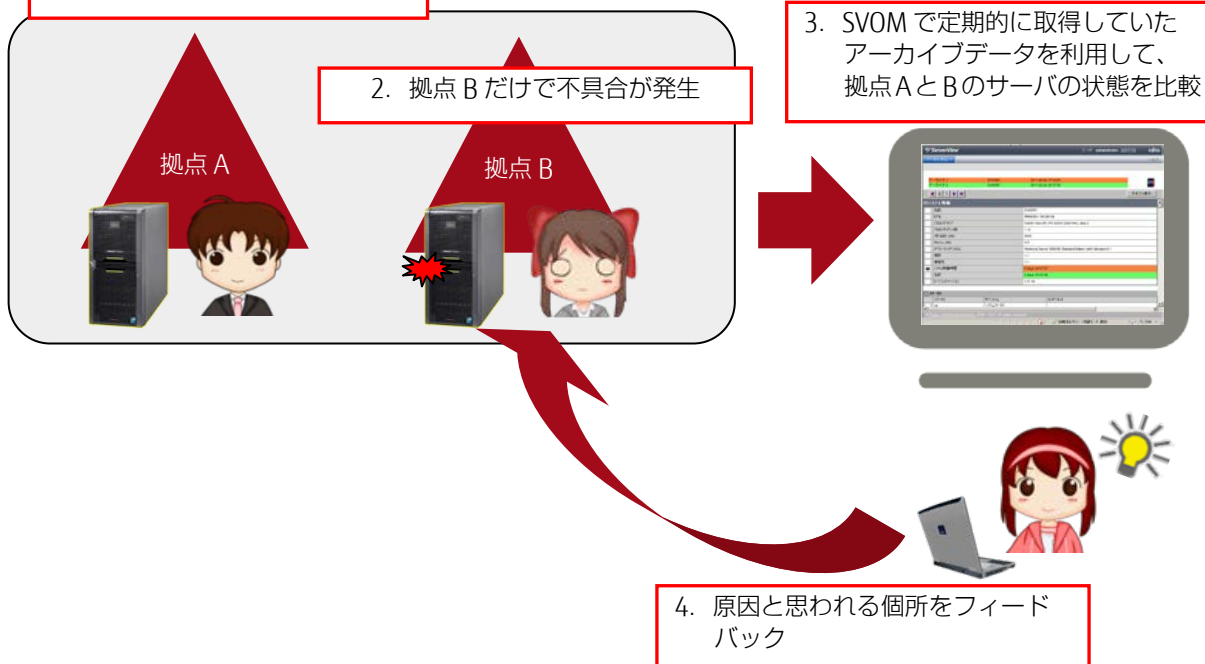
シナリオ 7 の運用イメージ

1. 拠点ごとの管理者がパッチ適用などの管理を行う

2. 拠点 B だけで不具合が発生

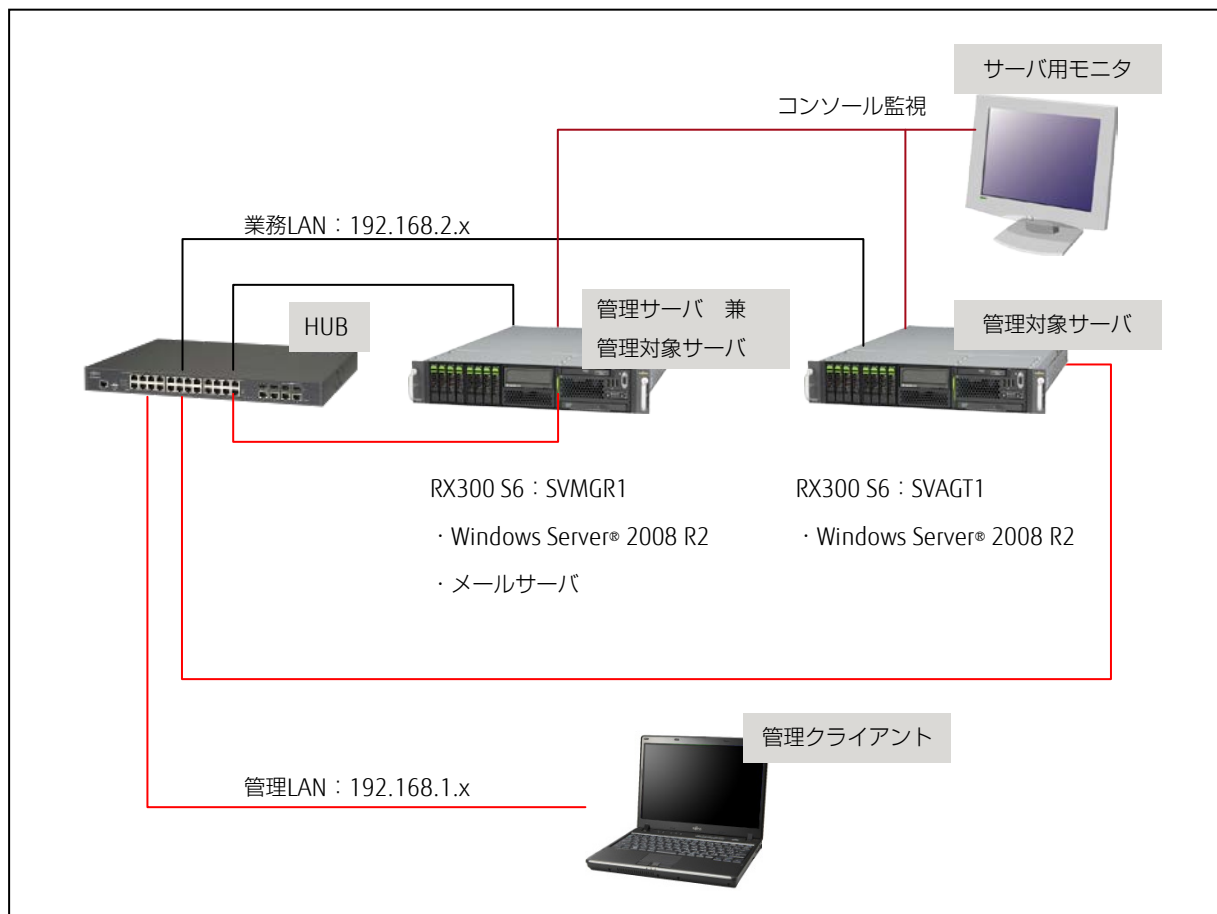
3. SVOM で定期的に取得していたアーカイブデータを利用して、拠点 A と B のサーバの状態を比較

4. 原因と思われる箇所をフィードバック



1.2. マシン構成

シナリオの基本構成となる環境は以下のとおりです。



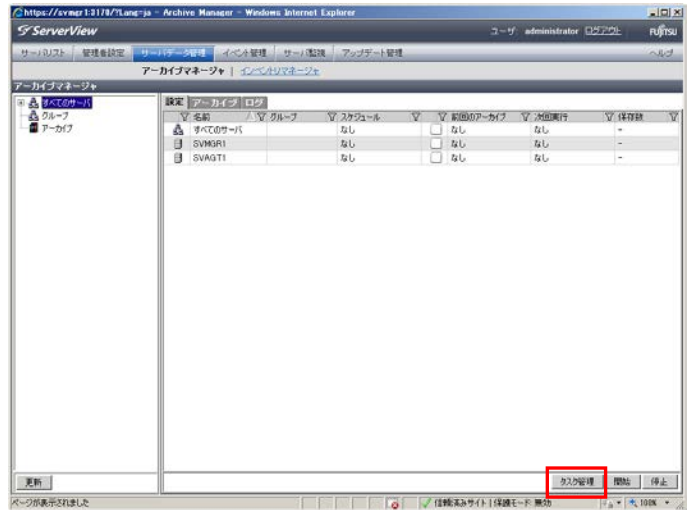
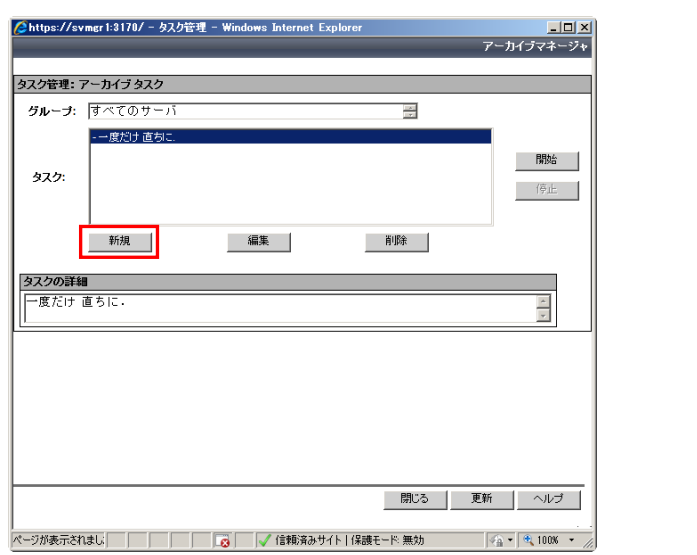
2. サーバ監視・管理の設定

2.1. サーバ情報の比較による原因究明

FUJITSU Software ServerView® Suite では、ドライバの更新などのハードウェアに関する様々な情報を定期的に保存しておき、過去の状態と比較できます。この機能を用いることで、間違ったドライバをインストールしたことに起因するエラーなどの原因究明を行うことが可能です。

2.1.1. アーカイブデータの設定

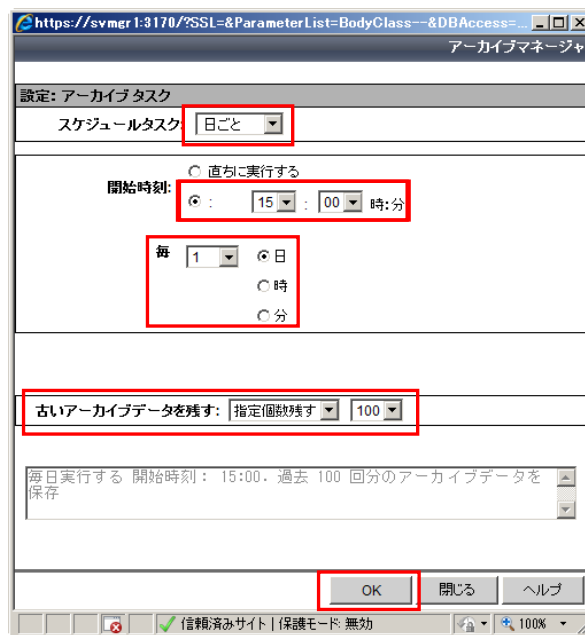
ここでは、ServerView Archive Manager を用いて、サーバのハードウェアの情報を定期的に取得し、過去の情報と比較することで、ドライバのアップデートなどの監視を行う方法をご紹介します。

<p>アーカイブタスクの設定</p> <p>1. SVOM のメニューから「サーバデータ管理」→「アーカイブマネージャ」とクリックし、アーカイブマネージャ画面を表示します。「設定」タブの「タスク管理」をクリックします。</p>	
<p>2. 設定画面で、「新規」をクリックします。</p>	

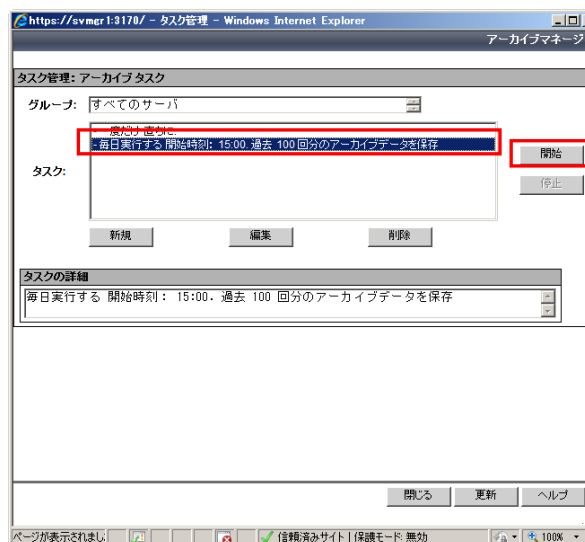
3. 今回の例では、毎日 15 時にデータ取得を行うため、以下の設定を行います。

- ・スケジュールタスク：日ごと
- ・開始時刻：15:00
- ・毎 1 日
- ・古いアーカイブデータを残す：指定個数残す 100

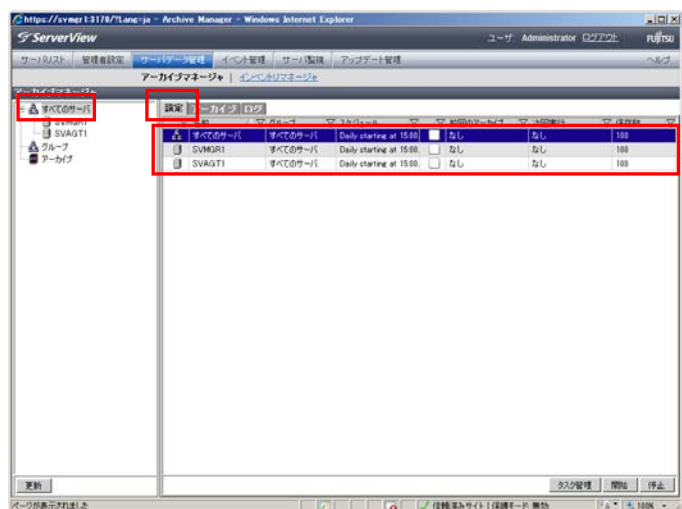
4. 完了したら、「OK」をクリックします。



5. 作成したタスクが一覧に追加されていることを確認後、そのタスクを選択し、「開始」をクリックします。

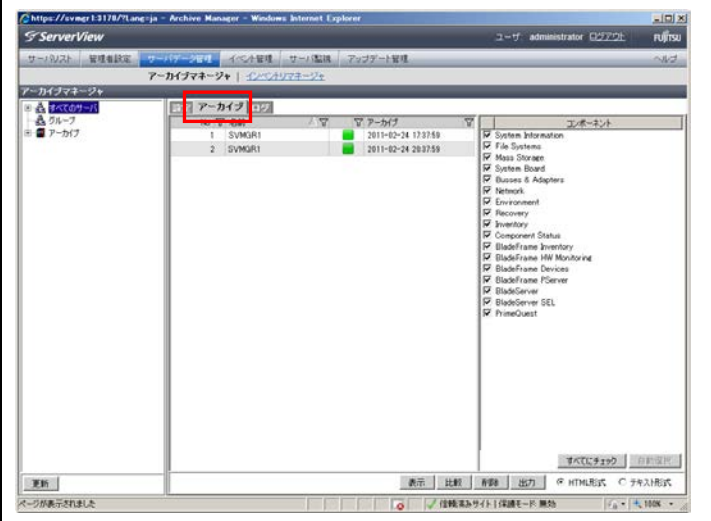

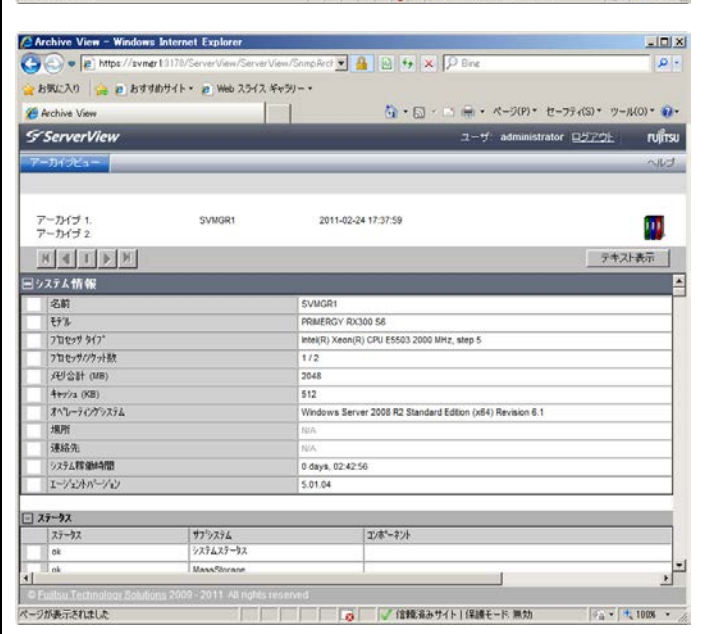


6. 左側のツリーから「すべてのサーバ」を選択し、「設定」タブをクリックします。作成したタスクが表示されていることを確認します。



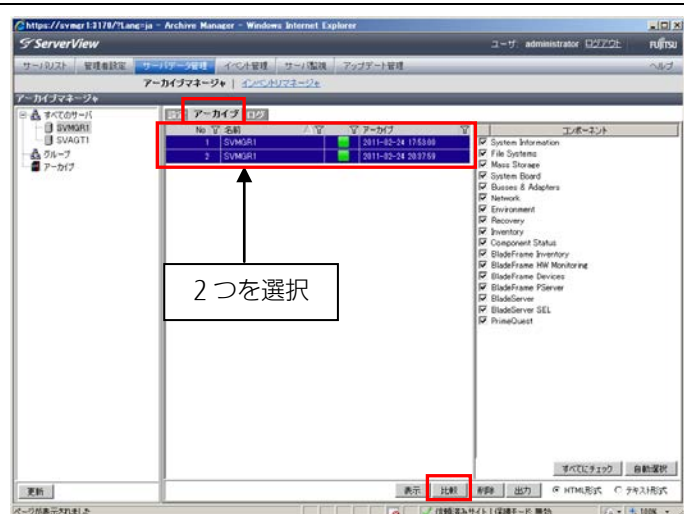
2.1.2. アーカイブデータの参照

2.1.1 章で設定し、定期的に取り得したアーカイブ情報を参照する方法をご紹介します。

アーカイブデータの参照	
<p>1. SVOM のメニューから「サーバデータ管理」→「アーカイブマネージャ」とクリックし、アーカイブマネージャ画面を表示します。「アーカイブ」タブをクリックします。</p>	 <p>データを選択</p> <p>必要な情報を選択</p>
<p>2. 取得したアーカイブデータの一覧から、参照したいデータを選択し、「表示」をクリックすると、データが表示されます。</p> <p>3. 右のチェックボックスから、必要な情報だけを選んで表示することも可能です。</p>	

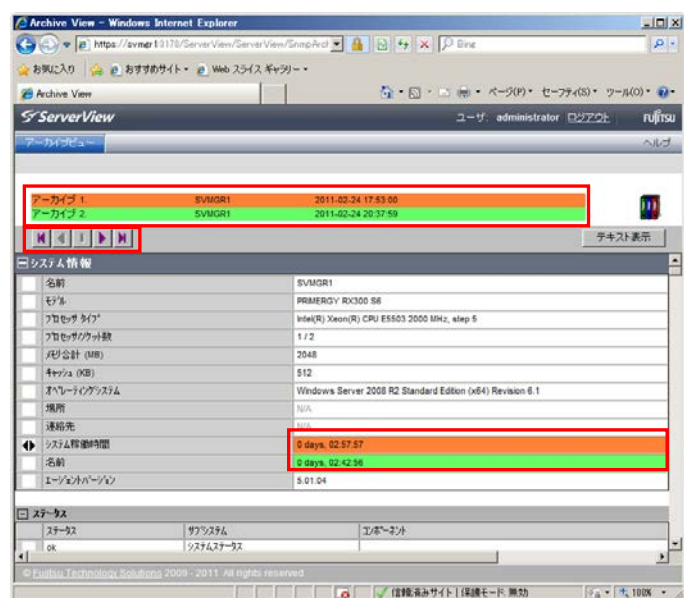
アーカイブデータの比較

4. アーカイブマネージャ画面で、「アーカイブ」タブをクリックします。
5. 取得したアーカイブデータの一覧から、参照したいデータを 2 つ選択し、「比較」をクリックします。



6. 比較結果が表示されます。相違のあるデータはオレンジ色と緑色に色付けされて表示されます。相違のある部分を参照することにより、不具合の原因を推測できます。

別の相違点を参照したい場合は、ナビゲーションバーのボタン（◀や▶など）を利用すると簡単に移動できます。



免責事項

免責事項

- ・ 著作権・商標権・その他の知的財産権について

本資料は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。個人的に使用する範囲で本書をプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用（資料の改変、御自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロードなど）については、当社または権利者の許諾が必要となります。

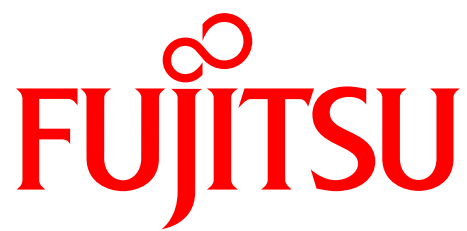
- ・ 保証の制限

本資料について、当社は、その正確性、商品性、御利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、その御利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本書は、予告なく変更・廃止されることがあります。

商標登記について

- ・ Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・ インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・ 記載されている会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、登録商標または商標です。
- ・ その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名などには必ずしも商標表示を付記しておりません。

PC サーバ FUJITSU Server PRIMERGY Web ページ：<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/>



shaping tomorrow with you